

## ～ 活動報告 ～

平成 21 年 6 月 21 日

中・四国地区 竹信正敏

### ■馬洗川人工ワンド水辺環境の整備

広島県三次市の馬洗川人工ワンドにおいて、6月12日・13日の2日間、在来河岸植物による水辺環境の回復箇所拡大を目指し第二次植栽作業をおこなった。

作業には、岡山、島根、広島の協会員をはじめ、中部地区の会員、ひろしま自然再生研究会、広島工業大学環境学部上嶋研究室研究生や地区のビオトープアドバイザー、環境再生医など、延べ33名の参加で実施された。

第一日目は、植栽場所と周辺の外来種除去、草刈りなどの整備班と植栽植物の現地採取班に分かれ作業をおこない、二日目は、現地周辺で採取した、ヨシ、カササゲ、ツルヨシ、チガヤをそれぞれ、予定の区画に植栽をおこなった。また、二日目の昼食後は参加者が自由にタモ網などを持ち、ワンド内の生物採取や観察もおこなわれ、採取した生きものや作業を通じ、参加者同士の情報交換などコミュニケーションも図ることの出来た二日間であった。



① 6月12日の参加者



② 6月13日の参加者



③ 特定外来種(オキナゲク)の抜き取り作業



④ 現地苗(カササゲ)の採取



⑤ 植栽作業(チガヤ)



⑥ 植栽作業(ヨシ)



⑦ 植栽作業終了



⑧ 現在のワンド河岸の状況